

創造する森 挑戦する炎

熊本大学では平成25年3月に、
本学が社会に提供する
根源的特質を象徴的に伝える言葉として、
コミュニケーションワード
「創造する森 挑戦する炎」を策定しました。

- 地域に身近で世界とつながる、
機動力あふれる総合国立大学
- 実践的課題解決力を持ち粘り強く取り組む、
パワーリーダーの育成と輩出
- 歴史や環境を活かして社会が求める
イノベーションを創出する、知的専門家集団

本学が熊本の地で長年かけて培ってきた、
こうした特質を分かり易く伝えようとするものです。
また、本学が今後も守り育てるべき特質を
示したものでもあります。

この度、かつて本学に在籍された、
墨と筆による気迫感と緻密な表現が印象的な漫画家
井上雄彦氏にこのコミュニケーションワードの
揮毫をお引き受けいただきました。

本学の構成員や関係者はもとより、広く社会の皆様にも
このコミュニケーションワードに親しんでいただき、
熊本大学が持つ伝統と、
未来を切り拓く熊大スピリットを
この言葉から伝えていきます。

熊本大学のみなさまへ

漫画家の井上雄彦です。

私は今から28年前の1985年に熊大文学部に入学しました。

卒業は・・・まだしていません。

在籍2年と半年で同級生よりも一足先に社会へと漕ぎ出すことにしました。

当時すでに漫画家になることを決めていたとはいえ、大学からはまぎれもなく落ちこぼれたのであり、中退した身である私にこのたびの揮毫のご依頼は、「荷が重すぎる」ものでした。

事務所の者に一度は「ノー」と言いました。

「ノー、サンキュー」と言いました。

逃げました。

しかし考えてみればこれはまたとない恩返しのお機会であり、

手を差し伸べてもらったのであり、

これを逃すとこんなお機会はもうないかもしれない。

今度こそ、お機会を逃してはならないと自分を奮い立たせて、事務所の者に、

「やっぱりイエス」

と伝えました。

かつて在学時、素晴らしい学びのお機会を用意されていたにもかかわらず

その価値に気づかないで、

私は折角のお機会から逃げるように去りました。

外へ外へと目を向けていました。

それが必ずしも間違いだったとは思いません。

ですが、年齢を重ねるにつれ、

いくつかの語学や、心理学、哲学、宗教学や比較文学といった、

勉強したいことが増えてくると、

たしか熊大在学時にそんな名前のお講義があったような気がするな・・・

と思い出すようになりました。

お機会はありあまるほど差し出されていた、私がそれに気づけなかったのです。

勉強せずバイトばかりしていた私をしかる学生がいました。

当時はその学生のことを

「なんて変わったやつなんだ」

と思っていましたが、ほんとうは逆でした。

「創造する森 挑戦する炎」

熊本の地、熊本の人々、そして熊本大学にふさわしい言葉だと思います。

拙い字を書きましたが受け取ってくださいましてありがとうございます。

少しでもみなさんのお役に立てたなら幸いです。

みなさんが熊本大学で過ごされる日々がこれからも一層充実した時間になりますように。

よい出会いに恵まれますように。

何であれ、どんな経験であれ、いつか学びに変えられますように。

平成25年9月18日

井上雄彦

井上 雄彦氏について

鹿児島県出身。熊本大学文学部入学後、漫画週刊誌に投稿した作品が編集者の目にとまり、大学を離れて上京。1988年には漫画家アシスタントを務める傍ら投稿した作品「楓パープル」が第35回手塚賞に入選し、漫画家としてデビュー。

「SLAM DUNK」、「バガボンド」、「リアル」など、スポーツや闘いを題材として成長する青年の姿を描いた作品で人気を集めてきた。2013年10月には伊勢神宮の式年遷宮を記念して墨絵「承」を奉納し、話題を集めている。

宮本武蔵を題材にした「バガボンド」により、第4回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞（2000年）、第2回手塚治虫文化賞マンガ文化大賞（2002年）受賞。他にも平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞文化賞（2012年）など、多くの受賞歴がある。

2009年には熊本市現代美術館で「井上雄彦最後のマンガ展」を開催、全国から来場者を集め、今日でもその入場者数の記録は破られていない。

受賞歴

- 1994年 - 第40回小学館漫画賞（『SLAM DUNK』）
- 2000年 - 第4回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞（『バガボンド』）
- 2000年 - 第24回講談社漫画賞（『バガボンド』）
- 2001年 - 第5回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞（『リアル』）
- 2002年 - 第6回手塚治虫文化賞マンガ大賞（『バガボンド』）
- 2008年 - 第2回 ASIAGRAPH Award 受賞
- 2009年 - 文化庁芸術選奨新人賞
- 2012年 - 平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞文化賞受賞



写真提供：関フラー

創造する森 挑戦する炎

井上雄彦 記す



コミュニケーションワードの取り扱いについて

本学のコミュニケーションワードは、本学関係者が、本学を紹介する際の表現として、文章やポスター、広告物、WEB など、積極的にご使用ください。

コミュニケーションワードは縦書きと横書きの2種類があり、本学教職員サイトからダウンロードして利用することができます。(注1)

なお、コミュニケーションワードについては、商業目的の使用はできませんのでご了承ください。

また、表現の統一性を保つと共に、効果的に使用いただくためにコミュニケーションワードの利用規約、コミュニケーションワードの運用デザインマニュアルなどを作成しましたのでご確認ください。(注2)

ポスターやチラシなど、個別のデザインが必要なものや、使い方に疑義が生じた場合は、本学マーケティング推進部広報戦略ユニットまでお問い合わせください。(注3)

(注1) コミュニケーションワードのデータダウンロードは本学の教職員に限りです。
学生の方でダウンロードを希望される場合は、広報戦略ユニットまでお問い合わせください。

(注2) 本学教職員サイト内にてご確認ください。
(教職員サイト TOP → 学内情報 (お知らせ) → 広報)

(注3) メールアドレス 広報戦略ユニット sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp